

会計室決算の概要

1 決算総括

会計事務については、引き続き、厳正な審査に基づく適切な支払や公金の安全確保かつ有利な管理運用を行うとともに、研修や会計検査の実施、庁内向けメールマガジンの発行等を通して、市全体の会計事務の向上に取り組んだ。

平成 29 年度決算は、歳入においては臨時的な機械工具類の売却収入等により収入増となり、歳出においては経費節減や委託料の入札残により不用額が生じた。

今後も、各所属等において適正な会計事務を遂行できるよう周知・指導に努めるとともに、引き続き事務経費の削減に努めていく。

2 重点取組の実績

(1) 公金の安全確保かつ有利な管理運用

取組名	実 績
公金の適正な管理運用	・公金管理運用会議を開催し、最新の金融情勢に鑑み、公金の安全確保かつ有利な管理運用を実施

(2) 会計事務の適正な執行の確保と効率化

取組名	実 績
効率的かつ厳格な審査・支払の実施	・法令等にのっとり支出審査を厳格に行うほか、総務事務センターへの審査の一部委任等により効率的に審査を行い、早期支払を推進
適正な会計事務の周知・指導	・会計検査の実施（全所属を対象としたチェックシート方式による検査、抽出した所属を対象とした実地検査、公金収納受託者の検査、指定金融機関等検査、コンビニ収納の検査） ・財務会計基礎研修等への出講 ・財務会計実践研修の実施 ・会計事務の手引や通知等の周知 ・かいけい通信（庁内メール、イントラで配信）の発行

(3) 指定金融機関選定時提案内容の履行確認

取組名	実 績
選定時提案内容の履行確認	・指定金融機関からの、業務関連手数料の低減や市政貢献等の提案に係る実施状況報告の徴取、確認及び協議

(4) 物品の有効活用と適正な管理の推進

取組名	実 績
物品の有効活用と適正な管理	・庁内リユース掲示板（庁内イントラ）等による周知、会計検査等を通じた所属への指導

(単位:千円)

3 会計室所管の決算額

(1) 一般会計

ア 歳入

款	予算現額 A	収入済額 B	翌年度繰越額 C	差引 A-B-C
財産収入	23,718	44,701	-	△ 20,983
諸収入	2,982	2,773	-	209
計	26,700	47,474	-	△ 20,774

イ 歳出

款項	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
総務費	24,200	18,843	-	5,357
総務管理費	24,200	18,843	-	5,357

4 会計室主要施策の概要

〔当初予算額の下段の括弧書きは、補正予算額、前年度繰越額、流用・移用等の予算の増減額、不用額の下段の括弧書きは、翌年度繰越額で、いずれも外数です。〕

項 目	主 要 施 策 の 概 要	当初予算額(A) (増減額(B))	予算現額 (C=A+B)	決算額(D)	不用額 (F=C-D-E) (翌年度繰越額(E))
		千円	千円	千円	千円
	一般会計合計	24,200	24,200	18,843	5,357
(1 公金取扱手数料)		7,500	7,500	5,514	1,986
公金取扱手数料	郵便振替受払手数料など	7,500	7,500	5,514	1,986
(2 会計事務)		16,700	16,700	13,329	3,371
会 計 事 務	金銭、物品会計事務	16,700	16,700	13,329	3,371

(会計室-1)